

SB チーム日本代表選手選考基準について

令和5年8月22日
一般社団法人日本ろう者スキー協会
アルペンスノーボードチーム
強化責任者 土師 比佐夫

20th 冬季デフリンピック（トルコ）アルペンスノーボード競技日本代表選手選考基準について、以下のように定める。

1. 選考大会

選考大会は「ADSD サマースマイルカップ in カムイ御坂」とする。

2. 選考基準

男子選手：男子前走者の平均タイムの 110%以内であること

女子選手：女子前走者の平均タイムの 115%以内であること

【上記の基準とした理由】

選考基準は国民に対して説明力のある選考基準でなければならない。よって、冬季デフリンピックで入賞以上の成績が見込まれるレベルを選考基準とした。

【入賞以上の成績が見込まれるパーセント根拠説明】

まず、男子選手のタイム基準を 110%に設定した根拠についてである。19th イタリア冬季デフリンピックで5位入賞した岡村選手のデフリンピック実績、並びに同選手と渡部コーチが同時に出場した第39回 JSBA 全日本選手権大会のタイム差の両方を考慮した。

選考大会に於いて渡部コーチの滑走レベル以上であれば入賞以上は確実であると判断したが、少し基準を緩やかにして 110%以内を男子選手の選考基準とした。

次に、女子選手のタイム基準を 115%とした根拠についてである。冬季デフリンピックアルペンスノーボードの世界レベルは、女子選手よりも男子選手の方が遥かに高く、女子選手は男子選手に比べてタイム基準をやや緩やかにして 115%としても入賞を見込めると判断した。

3. 救済策

今回の冬季デフリンピックは ICSD からの公式アナウンスが遅れたこともあり、選手にとって準備期間が不足していると思われる。よって上記1. の選考大会で惜しくも選考基準に漏れた選手がいた場合には、次の救済策を適用して再度選考を行うチャンスを与えるものとする。

【追加選考方法】

10月実施の海外遠征（中国）で、タイムトライアルレースを再度実施する。その際においても、基準は上記2. を適用して同様に選考する。但し、前走者をペースメーカー選手に置き換えるものとする。

以上